

こども園だより ～幼小連携の取り組みから～

さくらんぼ園

年長児は、こども園を卒園し小学校に入学することで大きな変化を経験します。幼児教育と小学校教育との円滑な連携を図るため、さくらんぼ園の年長児は9月から月に1～2回、中央小学校の1年生と交流をしています。

12月には小学校へ行き、1年生とペアになってちゅうりっぷの球根を植えました。あさがおを植えた経験のある1年生がリードしてくれながら、1つの鉢に土や肥料を入れ、球根の先が出ないように気をつけながら土をかぶせ

ていきました。1年生になる時には、きれいなちゅうりっぷが咲いて小学校で待っていてくれることでしょう。その後、教室でじゃんけん列車をしたり、休み時間には1～3年生が遊ぶサッカーに入れてもらって一緒にボールをけったり追いかけてたりして遊びました。

小学校になると環境も生活も大きく変わりますが、自分で植えた花やよく知っている先生や上級生がいることで、安心して小学校生活に慣れていける事と思います。



「球根を置いたら、優しく土をかけてね」ちゅうりっぷの植え方を、1年生が優しく教えてくれました。

教室で遊んだり、勉強したりする中で自然に小学校に慣れていきます。1年生になるのがとても楽しみです。

